

令和6年1月10日(水)

令和5年度「地域学校協働活動推進事業」研修会

これまでの活動を踏まえた 地域学校協働活動の 進め方について



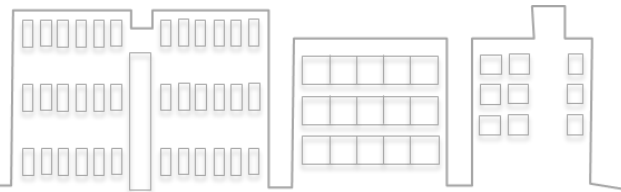
○ 事例紹介：

【手稲中央小☆子ども未来応援団 駒ヶ嶺 智史コーディネーター】





はじめに



本日の講師【自己紹介】

こまがみね

さとし

「駒ヶ嶺 智史」と申します。

◆ 所属団体及び役割

- ① 手稲中央小学校地域学校協働本部
「手稲中央小☆こども未来応援団」会長兼コーディネーター【7年】
- ② 手稲中央おやじの会 元会長【12年】
- ③ 手稲中央小学校 元PTA役員
- ④ 手稲中学校 元PTA会長
- ⑤ 札幌あすかぜ高校 PTA会長
- ⑥ 富丘西宮の沢地区青少年育成委員会 委員【7年】
- ⑦ 富丘丸山町内会 厚生部長兼広報部長【5年】
- ⑧ 手稲神社氏子青年会
- ⑨ 北海道札幌月寒高等学校同窓会 幹事長
- ⑩ 札幌らしいコミュニティスクールの在り方検討委員会委員 他

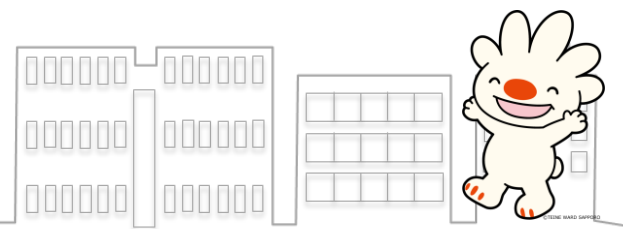
今も、これまでも、
たくさんのボランティア
活動に携わっています。



さいたま市、三鷹市
朝里中学校の視察に
行きました



次第



手稲中央小☆こども未来応援団

- (1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み
(4) 学校との効率的かつ効果的な連携



運営の課題

- (1) 発足時のからの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



これまでの活動を踏まえた地域学校協働活動の進め方について

- (1) 地域を信じて (2) まとめ



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との連携に向けた取り組み



(1) 組織概要

当団体は、平成29年度に手稲中央小学校サタデースクール運営協議会として発足し、今年で7年目となります。

【ロゴマーク】



この名称は、事前に委員から意見を募り、今年4月の運営会議にて、みんなで議論して「子どもたちに、保護者に、そして地域の皆さんに親しみやすく、わかりやすいネーミング」として決めた名称となります。



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



【令和5年度スローガン】

地域の輪をつなぎ、子どもたちの成長や学びを支える活動が続ける。

学校・家庭・地域等の連携・協働により地域総がかりで子どもの成長や学びを支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指すため、当本部が窓口となって、地域有識者とのつながりを維持し、地域との輪をつなげ、活動の発展を目指します。

【構成団体】

団体数 17団体	本校PTA、手稲中央おやじの会、本校学校評議員、開放図書館司書、子ども会、主任児童委員、(一社)手稲まちづくりネットワーク、富丘連合町内会、手稲本町光和町内会、手稲地区、富丘・西宮の沢：青少年育成委員会×2、手稲、富丘西宮の沢：まちづくりセンター×2、退職校長会、手稲本町商店街振興組合、やまなみ手稲(クラブ)、教員
会 員	コーディネーター7名、会員12名、教員3名 計22名

【事業内容】

年間12プログラム(学習支援4回、体験活動5回、体力健康3回)

【運営会議】

年3回 ≪4月(計画)、11月(中間報告等)、3月(結果報告)≫



手稲中央小☆こども未来応援団

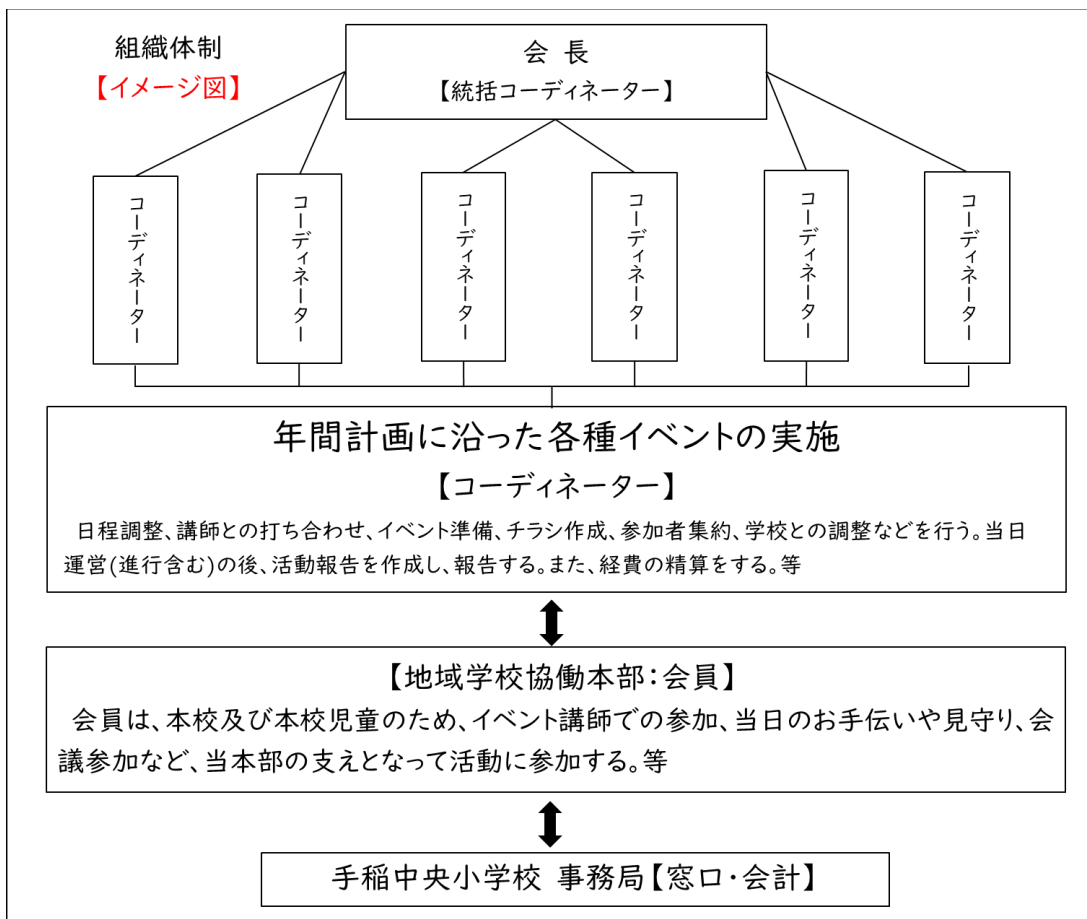
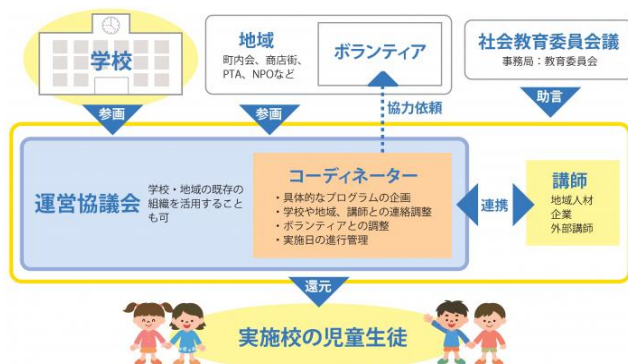
(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



【組織体制】コーディネーター7名、会員12名、教員3名 計22名

当団体は、イベントごとに担当コーディネーターを配置することで専門分野における業務を分散し、**会員全体で活動する組織体**を形成しています。

また、バックアップに統括コーディネーターがつき、当日担当者が急遽、欠席しても対応できる体制としています。





手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



(2) 活動内容

今年度の活動内容は、第1回運営会議で年間12回のプログラムを策定し、順調に実施しています。

- ◇ 土日祝 5回(運動会・学習発表会の行事後2回、校外2回、本校1回)
- ◇ 放課後 2回
- ◇ 教育課程 4回
- ◇ 長期休暇 1回(冬休み) 合計12回

活動タイミングを、
教員の出勤日を中心に
組んでいます。



◇ 学年別内訳

学 年 別 活動回数表	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計
	活動 回数	5	5	8	8	8	8	42

◇ 活動詳細

詳しくは、次ページにて、
一部抜粋して、紹介します。

地域 × 学校 ↗ 子どもたち





手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



令和5年度 札幌市立手稲中央小学校 地域学校協働活動推進事業「手稲中央小☆こども未来応援団」イベントスケジュール

No.	開催時期	活動分野	実施枠	対象学年	イベント名	参加人数
1	5月8日(月)	学校支援に関する活動	授業の中	5年生	プロに学ぶ「昨日までの自分を超えろ！速く走るための集中トレーニング」【仁井 有介選手】	100
2	5月27日(土)	体験活動	土日祝 運動会の午後	全学年	みんなの居場所 小学校で遊ぼう「万華鏡づくり」【子ども会育成連合会】	44
3	6月13日(火)	体力健康	放課後 短縮4時間授業の後	全学年	野球体験・ボールの投げ方教室【元プロ野球選手 牧谷 宇佐美選手】	58
4	6月28日(水)	学校支援に関する活動	授業の中	4年生	とびっきりの書道の楽しさ ～払いの極意～【佐藤 晴樹講師】	105
5	9月2日(土)	体験活動	土日祝	3～6年生	我ら「手稲山探検隊」【やまなみ手稲】	6
6	9月5日(火)	学校支援に関する活動	授業の中	6年生	NASの着衣水泳【NASスポーツクラブ】	92
7	10月5日(木)	学校支援に関する活動	授業の中	3年生	プロに学ぶ「たのしい歌い方レッスン」【芳野 直美】	104
8	10月28日(土)	体力健康	土日祝 学習発表会の午後	全学年	手稲中央おやじの会「ドッジボール大会」【おやじの会】	80
9	11月2日(木)	体験活動	放課後	全学年	「秋のおたのしみ会」【開放図書館】	42
10	12月27日(水)	体力健康	冬休み期間中	3～6年生	手稲中央小学校杯「雪合戦」【子ども会育成連合会】	27
【活動分野】学校支援＝4回、体験活動＝3回、体力健康＝3回、【実施枠】教育課程＝4回、イベント後＝2回、放課後＝2回、土日祝＝1回、長期休暇＝1回【計10回】						658

◇ 今後のイベント開催予定

No.	開催時期	活動分野	項目	対象学年	イベント名	参加人数
11	1月29日(日)	体力健康	土日祝	1～2年生	スキー初心者レッスン【退職校長先生】	
12	2月17日(土)	体験活動	土日祝	3～6年生	冬の手稲山麓探検【やまなみ手稲】	
【活動分野】学校支援＝0回、体験活動＝1回、体力健康＝1回、【実施枠】教育課程＝0回、イベント後＝0回、放課後＝0回、土日祝＝2回、長期休暇＝0回【計2回】						

◇ 全体合計

【活動分野】学校支援＝4回、体験活動＝4回、体力健康＝4回、【実施枠】教育課程＝4回、イベント後＝2回、長期休暇＝1回、放課後＝2回、土日祝＝3回【計12回】						658
---	--	--	--	--	--	-----



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携

- ◇ 学校支援に関する活動【書道の達人に授業を依頼し、有意義な学びを提供】
書道の達人に授業を依頼し、有意義な学びを提供しました。

授業の中でプロに学ぶ!! ～払いの極意～

びっきりの
書道の楽しさ



字の形、画の方向を知り、右払い、左払いを学ぶ。

最終的には「麦」という字を完成させるため、達人に教えを受ける特別企画!!



【イベント内容】参加者：105名

- ◇ 講師
退職校長会 会長
「佐藤 晴樹先生」
- ◇ 開催日時
6月28日(水)授業2時間
- ◇ 対象：4年生
- ◇ 内容
授業の中で書道の達人に「麦」の書き方のポイントを学び、きれいな字を書く学習をしました。



手稲中央小☆こども未来応援団について

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携

【プロに学ぶ！！とびっきりの書道の楽しさ ～払いの極意～】

【アンケート結果より抜粋】

2023 さっぽろ地域学校協働活動推進事業 手稲中央小学校 地域学校協働活動 手稲中央小☆こども未来応援団 第4弾

授業の中でプロに学ぶ！！

とびっきりの書道の楽しさ ～払いの極意～

～ 参加者アンケートのお願い ～

1 書道【払い】は上手に書けたかな？
☐ 上手に書けた ☐ 書けなかった ☐ わからない

2 佐藤春樹先生の書道授業は楽しかったかな？
☐ とても楽しかった ☐ 楽しかった ☐ ふつう ☐ 楽しくなかった

3 書道は好きになりましたか？
☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

4 これからも「手稲中央小☆こども未来応援団」イベントに参加したいですか？
☐ 参加したい ☐ 参加したくない ☐ わからない

5 佐藤 晴樹先生にメッセージをお願いします！(〇〇)

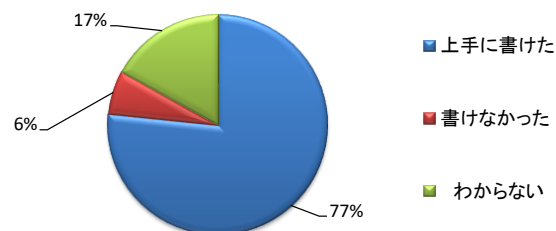
今日は、ご参加ありがとうございました。また皆さんで楽しみたい☆
【数日の場合】 ①担任に提出 → ②(担任外)PTA担当 → ③こども未来応援団



1 書道【払い】は上手に書けたかな？

学年	上手に書けた	書けなかった	わからない	合 計
4 年生	72	6	16	94

1 書道【払い】は上手に書けたかな？



「上手に書けた」が、77%となっており、このイベントに参加したことで、書道が上達したと実感した参加者の様子がうかがえる。

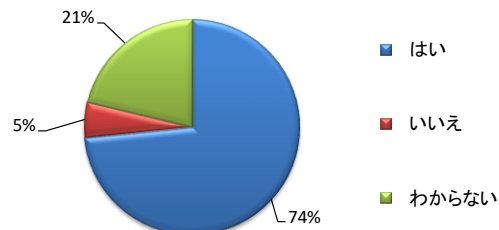
アンケート結果からも、「わかりやすかった。」「次回も活用して、書きたい。」「また教えてほしい」など、前向きなものが大半だった。



3 書道は好きになりましたか？

学年	はい	いいえ	わからない	合 計
4 年生	69	5	20	94

3 書道は好きになりましたか？



「好きになった。」との回答が74%だったことは、上記1の上手に書けたとほぼ同様であったため、楽しく上手に書けた結果、書道が好きになったと言えた感想だと考えます。

ちょっとした技術でも、見事に吸収して、進化できる子どもたちの可能性を感じます。



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



◇ プロに学ぶ！！ とびっきりの書道の楽しさ ～払いの極意～

【アンケート結果】子どもたちの感想から、「いつもよりも書いた枚数が少ないのに、上達した。(やみくもではなく、要点を絞って練習できた。)',「他の文字にも活かせるので、とても勉強になった。」など、児童たちの成長に寄与できたと言えます。



【こどもたちのコメント】

書道は苦手でしたが、頑張って書こうとしたら、うまくって嬉しかったです。佐藤先生、教えてください、本当にありがとうございました。これからは、半紙をあんまり使わないで書いてみます。次会えた時は、もっとうまくきれいにできるようにします。

僕の書いた字の改善点や、「ここがいいね!」と褒めてくれて、ありがとうございました。またきてください!佐藤先生は、お身体をお気をつけてください。

ありがとうございました。次に会ったとき、今日の5倍うまい字を見せます。教え方がいろいろパーフェクトでした。

今日は、書道で「麦」を教えてください、ありがとうございました。いつも「払い」がうまいかなかったけど、先生に教えてもらったら、いつもよりうまく書けたから、成長したと思います。また、教えてください!

とても楽しかったし、僕は本当は苦手だったけど、佐藤先生に勇気をもらって、ずっとやりたいと思いました。一緒にやったときは、褒めてくれて嬉しかったです。ありがとうございました。

【先生からのコメント】

教員は、広い分野の指導をしますが、達人ではないので、専門的な技術で、こどもたちにご指導いただけたことは、自分にも大変勉強になりました。

こどもたちが、卓越した技術を見て、学んで、真剣に取り組む様子が印象的でした。本物の技に触れて、こどもたちの成長につながったと思います。ありがとうございました。

本校は、地域のコーディネーターが中心となって、さまざまな授業を提供してくれるので、助かっています。



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携

◇ 体験活動【土日祝：運動会の午後、こどもたちの遊び場づくりを実施】

みんなの居場所 ☆ 小学校で遊ぼう！ 万華鏡づくり



【イベント内容】参加者：44名

- ◇ 講 師
札幌市子ども会育成連合会
手稲区支部・退職校長会
- ◇ 開催日時
5月27日(土)運動会の後
- ◇ 対象：1～6年生
- ◇ 内 容
運動会終了後の午後、子どもたちの遊び場を提供するため、万華鏡づくりを開催しました。



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携

◇ 体験活動【土日祝：運動会の午後、こどもたちの遊び場づくりを実施】



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



◇ 体力健康の活動【短縮4時間授業の後、プロと地域のコラボイベント開催】

TEINE
YoungStars
— Junior Baseball Team —

やきゅうたいけん

野球体験

× プロに学ぶ!!

ボールの

投げ方教室

ボールの投げ方
教室の様子 →



← 野球体験
の様子

【イベント内容】参加者：58名

◇ 講師

・プロ野球選手

「牧谷 宇佐美」講師

・手稲ヤングスターズ

「コーチ・選手の皆さん」

◇ 開催日時

6月13日(火) 放課後

◇ 対象：1～6年生

◇ 内容

元プロ野球選手にボールの投げ方を教わり、地域の野球少年団に野球体験をしてもらいました。



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携

◇ 体力健康の活動【短縮4時間授業の後、プロと地域のコラボイベント開催】



ボールの投げ方
元プロから学ぶ
小学生対象に教室
手稲区 「地域とともに学
ぶ協働活動」プロ
に学べ! 野球体験&ボ
ールの投げ方教室」が6月13
日、手稲中央小で開かれま
した。

子どもたちに多様な学び
や体験の機会を提供する市
の「地域学校協働活動推進
事業」の一環で、学校関係
者と地域住民らでつくる
「手稲中央小☆こども未来
応援団」が主催。応援団は
校区の子どもたちを対象
に、年間10種類ほどの体験
イベントを開催していま
す。この日は少年野球チ
ーム「手稲ヤングスターズ」
の選手・監督を講師に、さ
らに元ヤクルトスワローズ
選手の牧谷宇佐美さんを特
別講師に招きました。

1～6年生約60人が参加
し、丁寧な柔軟体操と準備

ボールの投げ方を指導す
る牧谷さん

運動の後、ボールを投げる
練習をしました。牧谷さん
は、ボールを遠くに飛ばす
には「ボールを持っていな
い方の腕を斜め上に挙げ、
その方向に投げる」とアド
バイス。最初はぎこちない
様子の子どもたちでしたが、
牧谷さんの熱心な指導
と説明に、どんどん引き込
まれていきました。

最後に牧谷さんは「親や
先輩の声を素直に聞き、そ
れを理解した上で、それぞ
れの夢に向かって挑戦して
ほしい」と子どもたちに呼
び掛けていました。

(リポーター・岡本寿子)





手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



(3) 地域学校協働活動を育てる取り組み

当団体では、プログラム活動を行うとともに、運営会議にて「地域の輪をつなぐ取り組み」を図っており、**広く委員の意見を取り入れるため、アンケートの実施や、事業報告会、グループ討議などを行っています**

【事例紹介① …第1回本校運営会議(会議参加者：12名)】

1回目の運営会議にて、年間計画及び予算の決定、そして団体名称の選定について、事前にアンケートを取り、当日議論して「手稲中央小☆子ども未来応援団」に決定しました。

※ 詳しくは、生涯学習部発行：令和5年7月「ちがくきょうどう通信」を参照



- ・ 手稲っ子スクールプロジェクト、
- ・ 手稲中央小学校 地域応援団、
- ・ コミュニティスクールサポーターズ他、ご意見あり



手稻中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



【事例紹介② …第2回本校運営会議(会議参加者：16名)】

2回目の運営会議では、事業報告会后、グループ討議をして、コミュニケーションを図り、地域の輪を育みました。

最初は、「えー？」っと、声が上がりましたが、最後には話し足りない様子で、あっという間の時間となりました。



《グループ討議のテーマ》

① 「子どもの成長のためにできる活動」

校長、教頭、教員、まちづくりセンター所長、青少年育成委員、こども会会長、開放図書館司書、連町会長 8名

② 「地域との関わりを深める活動」

会長、教員×2名、まちづくりセンター所長、同窓会長、町内会、主任児童委員、退職校長 8名





手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携

① 「子どもの成長のためにできる活動」

校長、教頭、教員、まちづくりセンター所長、青少年育成委員、こども会会長、開放図書館司書、連町会長 計8名



- ・ こどもとの接し方において、第一声を「えーっ ×」ではなく、「おーっ ○」と、前向きな発言をすることで、承認欲求が高まる。
- ・ 「体験」を通した活動で、たくさんの気づきや学びを得る。【地域の歴史、人材、資源を活用】
- ・ 地域とのコミュニケーションや、想像力を養う。【歴史、体験、防災など】
- ・ こどもたちは、役立ったことで自己有用感を得る。【自分たちの住む町での貢献など】



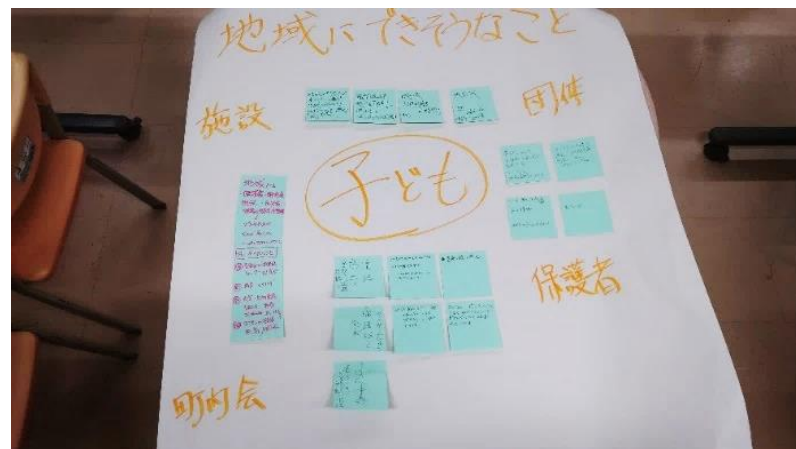
手稻中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



② 「地域との関わりを深める活動」

会長、教員×2名、まちづくりセンター所長、同窓会長、町内会、主任児童委員、退職校長 計8名



- ・【社会体験】 町内会が行なっている清掃活動や交通安全運動など、子どもたちを交えて行うことで、社会体験をしてもらう。
- ・【地域を知ってもらう】 地域の良さをたくさん子どもたちに知ってもらう機会を作り、町内会やまちづくりセンターと情報共有しながら、交通安全マップ・校区マップづくりや地域のイベント参加を図る。
- ・【学校外活動の充実】 学校ではできない活動として、町内で行うイベントを活用し、こどもたちに運動会などのイベントを作らせる体験をさせる。
- ・【地域の歴史】 地域が伝承する文化体験(餅つきや歴史体験)や、地域にある団体(手稻郷土史研究会や石の会)などを通じて、子どもたちに地域への愛着を図る。



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



(4) 学校との効率的かつ効果的な連携

統括コーディネーターが中心となって、学校と事業運営を協議し、イベントの開催時期の策定やプログラム内容の検討を経て、効率的かつ効果的な運営を図っています。

地学協働は、
学校の**負担軽減**➡
がカギとなります。

◇ プログラムの策定

今年度から始まった教育課程の中でのプログラムを検討し、より授業に沿った内容で、教育課程の充実を図るものとなりました。今も来年度に向けて、どのように連携するか検討を進めています。

例：運動会に向けた走り方の授業、書道の極意伝授、着衣水泳、学習発表会で発表する歌のレッスン

◇ プログラム開催時期の調整

プログラム開催にあたり、教員の休日出勤を抑制するため、なるべく出勤日である行事(運動会・学習発表会)や放課後に、イベントを開催する日程としました。

◇ 役割分担

役割分担としては、統括コーディネーターが中心となって、進行計画策定、チラシ作成(web申込&リスト作成)、会議資料作成及び講師調整などを担い、学校の負担を軽減しています。

学校側の役割としては、児童へのチラシ配布、問い合わせ、施設管理、備品貸出、教育委員会との窓口が主となります。



手稲中央小☆こども未来応援団

(1) 組織概要 (2) 活動内容 (3) 地域学校協働活動を育てる取り組み (4) 学校との効率的かつ効果的な連携



令和5年度 札幌市立手稲中央小学校 地域学校協働活動推進事業「手稲中央小☆こども未来応援団」イベントスケジュール

No.	開催時期	活動分野	実施枠	対象学年	イベント名	参加人数
1	5月8日(月)	学校支援に関する活動	授業の中	5年生	プロに学ぶ「昨日までの自分を超えろ！速く走るための集中トレーニング」【仁井 有介選手】	100
2	5月27日(土)	体験活動	土日祝 運動会の午後	全学年	みんなの居場所 小学校で遊ぼう「万華鏡づくり」【子ども会育成連合会】	44
3	6月13日(火)	体力健康	放課後 短縮4時間授業 の後	全学年	野球体験・ボールの投げ方教室【元プロ野球選手 牧谷 宇佐美選手】	58
4	6月28日(水)	学校支援に関する活動	授業の中	4年生	とびっきりの書道の楽しさ ～払いの極意～【佐藤 晴樹講師】	105
5	9月2日(土)	体験活動	土日祝	3～6年生	我ら「手稲山探検隊」【やまなみ手稲】	6
6	9月5日(火)	学校支援に関する活動	授業の中	6年生	NASの着衣水泳【NASスポーツクラブ】	92
7	10月5日(木)	学校支援に関する活動	授業の中	3年生	プロに学ぶ「たのしい歌い方レッスン」【芳野 直美】	104
8	10月28日(土)	体力健康	土日祝 学習発表会 の午後	全学年	手稲中央おやじの会「ドッジボール大会」【おやじの会】	80
9	11月2日(木)	体験活動	放課後	全学年	「秋のおたのしみ会」【開放図書館】	42
10	12月27日(水)	体力健康	冬休み期間中	3～6年生	手稲中央小学校杯「雪合戦」【子ども会育成連合会】	27
【活動分野】学校支援＝4回、体験活動＝3回、体力健康＝3回、【実施枠】教育課程＝4回、イベント後＝2回、放課後＝2回、土日祝＝1回、長期休暇＝1回 【計10回】						658

◇ 今後のイベント開催予定

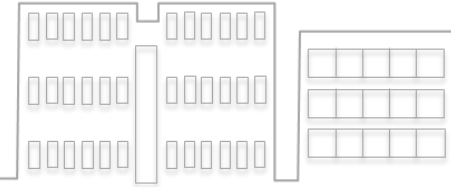
No.	開催時期	活動分野	項目	対象学年	イベント名	参加人数
11	1月29日(日)	体力健康	土日祝	1～2年生	スキー初心者レッスン【退職校長先生】	
12	2月17日(土)	体験活動	土日祝	3～6年生	冬の手稲山麓探検【やまなみ手稲】	
【活動分野】学校支援＝0回、体験活動＝1回、体力健康＝1回、【実施枠】教育課程＝0回、イベント後＝0回、放課後＝0回、土日祝＝2回、長期休暇＝0回 【計2回】						

◇ 全体合計

【活動分野】学校支援＝4回、体験活動＝4回、体力健康＝4回、【実施枠】教育課程＝4回、イベント後＝2回、長期休暇＝1回、放課後＝2回、土日祝＝3回 【計12回】						658
--	--	--	--	--	--	-----



次第



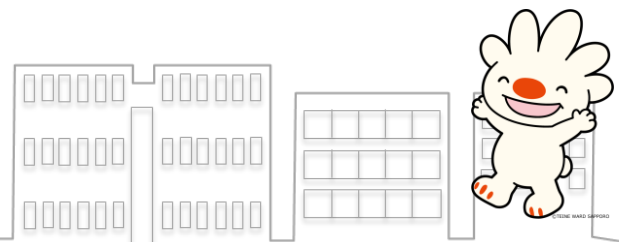
2 運営の課題

- (1) 発足からの経過
- (2) 運営の課題
- (3) 課題への対策

2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



(1) 発足からの経過

【発足】平成29年4月28日(契約日)

当時の校長先生が中心となって発足しました。

【名称】手稲中央小学校サタデースクール運営協議会

【目的】特別な1日を子どもたちに体験させよう!!

地域と学校が連携し、地域の多様な人材の協力を得て、子どもたちに「土曜ならではの」の学びの場を提供するとともに、地域力の向上(人材育成など)を図ります。

【構成団体】 統括コーディネーターを、おやじの会会長として構成

団体数 13団体	本校PTA、手稲中央おやじの会、本校学校評議員、開放図書館司書、本校同窓会、教員、子ども会、主任児童委員、(一社)手稲まちづくりネットワーク、手稲地区：富丘・西宮の沢青少年育成委員会×2、手稲まちづくりセンター、手稲本町少年消防クラブ、スポーツ推進委員
会 員	コーディネーター3名、会員11名、教員3名 計17名

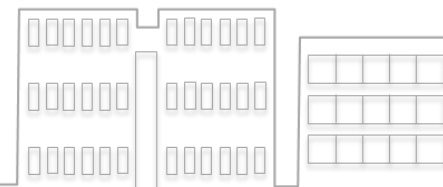
【事業内容】 年間8プログラム(体育振興3回、企業連携2回、地域人材2回、学習支援1回)

【運営会議】 年3回 ≪4月(計画)、11月(中間報告等)、3月(結果報告)≫

2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



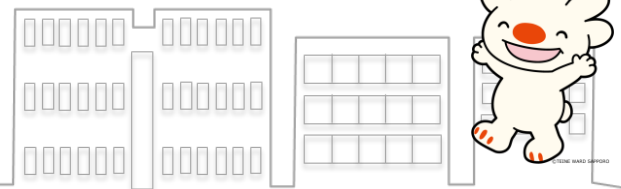
札幌市立手稲中央小学校地域学校協働活動推進事業「手稲中央小☆こども未来応援団」実施プログラム一覧及び参加者

No.	実施月	名 称	サタデー		コロナ禍			放課後OK	授業OK	合計
			H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	
1	5月	5年生「昨日までの自分を超えろ！速く走るための集中トレーニング」	105	93	89				100	387
2	5月	「たのしい万華鏡づくり」【運動会後】【R4:8月の平日放課後(夏休みから延期)】						56	44	100
3	6月	日本の代表的な伝統楽器～「琴(箏)」体験サタデースクール(月1回、計5回)	5	15	18					38
4	6月	野球体験&ボールの投げ方教室		35	28			17	58	138
5	6月	4年生「とびっきりの書道の書き方」 【H30～R1:冬休み中の1月「新春書初め大会」、R3～4:書初めと琴演奏会で合同開催】		41	30		9	19	105	204
6	7月	夏休みの居場所づくり事業「夏休みは学校で勉強しよう!!」	15	70	72			中止		157
7	8月	夏休み特別企画 我ら「地下鉄探検隊」	39							39
8	8月	夏休み特別企画手稲山サマーキャンプinカッコウの森		24	23					47
9	9月	我ら「手稲山探検隊」【H30～R4:8月下旬】		20	15		中止	23	6	64
10	9月	6年生「NASの着衣水泳」							92	92
11	10月	プロに学ぶ「みんなで楽しい歌い方レッスン」							104	104
12	10月	秋のスポーツフェスタ					98	93		191
13	10月	手稲中央おやじの会「ドッジボール大会」(音楽参観後) 【H29～R1:12月(R1:インフルとｺﾏで中止)、R2:ｺﾏ、R4:インフルによる延期で、2月開催】	90	96	中止	41	89	95	80	491
14	11月	開放図書館「森のすず 秋のおたのしみ会」(H29～R4:9月)	59	54	29		中止	47	42	231
15	11月	ハッピーフェスティバル同時開催「さわれる楽器博物館」※ PTA行事と合同開催	200							200
16	12月	手稲中央小学校杯「雪合戦」【R4:2月】				中止	中止	37	27	64
17	1月	小学校グラウンドでスキーレッスン【H29～R1:2月、R2～4:1月】	30	29	11	37	中止	27	未	134
18	2月	冬の手稲山麓探検隊【R1:2月、R2～4:3月】			8	19	中止	20	未	47
合 計			543	477	323	97	196	434	658	2,728
実施プログラム回数			8	10	10	3	3	10	12	56

2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



(2) 運営の課題

～ボランティア主体活動における必須課題～

ここまで見ると、順風満帆のように見えるかと思いますが、発足当初から山あり谷あり、課題にぶつかりながら積み上げてきたものであり、今も多くの問題点を抱えています。

運営課題

- ① 継続的かつ確実な運営
- ② PTAとの関係性
- ③ コミュニティスクールとの連携

教員の負担増の現実
働き方改革との共存

本校サタデースクール
運営協議会スタート

サタデー参加校:50校程度

・ コロナ禍で活動停止
・ PTAがボランティアを
主体にした活動の縮小

サタデー参加校:13校

サタデー参加校:25校

【活動再開】
地域学校協働活動推進事業
に変更【名称変更】

手稲中央小 こども未来応援団

H29

H30～31

R2～R3

R4

R5～

土日祝・長期休暇

放課後OK

教育課程OK

発 足

転換期

低迷期

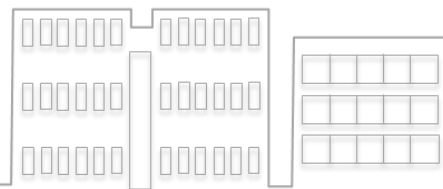
復元期

成長～未来へ

2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



H29

H30~31

R2~R3

R4

R5

土日祝・長期休暇

放課後OK

教育課程OK

発足

転換期

低迷期

復元期

成長~未来へ

R6~

【当会の課題】

事務作業や意識に偏りがあり、
統括コーディネーターに業務が集中
(講師やスタッフはできて、運営まで手伝えない等)

↓
将来の担い手・スタッフ不足を懸念

↓
会員に主体性の芽生えを促したい

【① 継続的かつ確実な運営】

【学校事務局の課題】

- ・ 休日出勤に伴う教員の負担増
- ・ 本業以外の活動増加
- ・ 人事異動による教員の交代など

- ・ コロナ禍で活動停止
- ・ PTAがボランティアを
主体にした活動に縮小

【② PTAとの関係性】

- ・ 保護者との関わり合いが
乏しい。
- ・ 保護者の新陳代謝 など

※ 昨今の共働き家族の増加や
習い事の見守りなど、時代の変
化で保護者の参加が難しくなっ
てきた。

③ コミュニティ スクールとの連携

中学校区でのコミスク
学校運営協議会がで
きることで、関わってい
る会員が分散し、組織
力の低下が見込まれる。

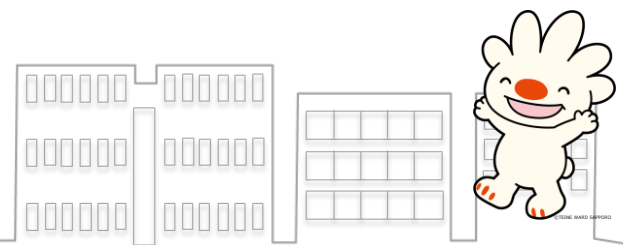
【想定課題】

他団体との掛け持ち
による会議数の増加な
どの負担増など

2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



(3) 課題への対策

① 継続的かつ確実な運営

【対策】：① 将来の担い手不足、② 当事者意識の差、③ 教員との連携

② PTAとの関係性

【対策】：① 関係性の希薄、② 保護者の関わり、③ 認知度の低さ

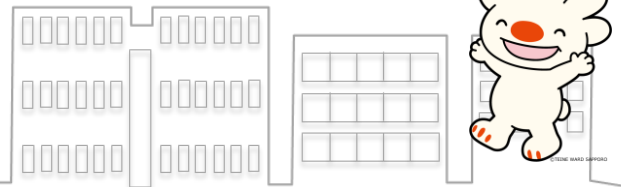
③ コミュニティスクールとの連携

【対策】：① 団体活動の住み分け、② 当団体が目指すもの

2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策

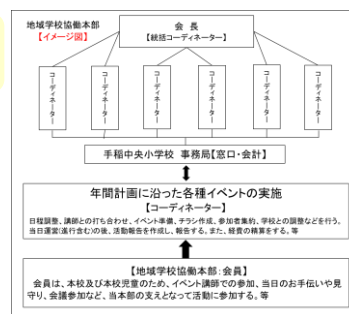


運営課題

① 継続的かつ確実な運営

【対策① 将来の担い手不足】担当コーディネーター制の整備

- ・ 当団体は、イベントごとに担当コーディネーターを配置することで専門分野における業務を分散し、会員全体で活動する組織体を形成しています。
- ・ バックアップに統括コーディネーターがつき、当日担当者が急遽、欠席しても対応できる体制としています。
- ・ 担当コーディネーターごとに、活動費を支払うことも可能となり、責任感が生まれる。



【対策② 当事者意識の差】運営会議でのコミュニケーション

- ・ 運営会議の中で、会員のコミュニケーションを図るため、事前にアンケートを取ったり、会議の中でグループ討議をするなど、意見を反映できる場を作っています。
- ・ 担当コーディネーターには、会議内でイベント結果の説明など依頼し、主体性の醸成を図っています。



【対策③ 教員との連携】教員の負担軽減に向けた対策

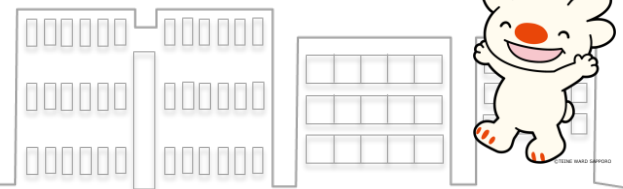
- ・ 教員の休日出勤を抑制するため、なるべく出勤日である行事(運動会・学習発表会)や放課後に、イベントを開催する日程としました。
- ・ 地域の力で教員負担(講師・企業との連絡調整など)を軽減するとともに、子どもたちに有意義となるプログラムを、学校と協議して検討しています。
- ・ 運営会議の事務関係をコーディネーターが担い、役割分担を徹底しています。



2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



運営課題

② PTAとの関係性

【対策① 関係性の希薄】PTAとの絆を育むこと

学校運営の中心は、学校に通う子どもたちの保護者が関わっていることが理想的であるため、PTA役員に地学協働の説明や会議への意見聴取など、率先して行っています。



【対策② 保護者の関わり】サポーター制度の導入

イベント募集に合わせて、裏面にサポーター募集の告知をするなど、スタッフ募集を行い、関係性の構築を図りました。

※ 単発でのサポーター登録はありますが、継続的な登録はありません。

【手稲中央小☆こども未来応援団】

サポーター大募集！！

当団体では、休日、放課後及び授業中に、年間12回ほどのイベントを子どもたちのために実施しています。ボランティアで、イベント運営をお手伝いしてくれる保護者の方がいましたら、是非、サポーター登録をお願いいたします。お手伝いは、イベント当日のみで構いませんので、よろしくお願いいたします。

サポーター登録方法



↑上のQRコードを読み取り、Googleフォームから登録してください。

【対策③ 認知度の低さ】チラシ・ホームページの活用、ポスター掲出

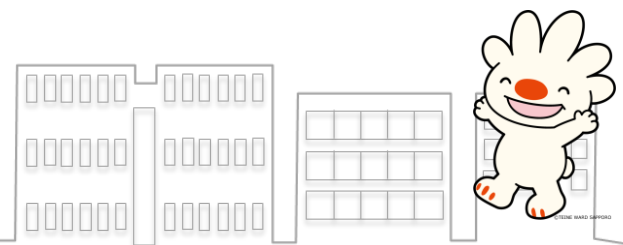
保護者へのアンケートや、イベントチラシの裏面を活用した活動報告、学校たより、本校ホームページ、玄関へのポスター掲出など、様々な取り組みをしています。

今年度から始まった教育課程での取り組みについて、日常行われている特別授業(市の出前講座や企業など)との違いがわからず、認知度が低い現状があります。対策として、プログラムを公開授業として保護者に案内して開かれた環境を作っています。(毎回、数名ではあるが、保護者の見学が必ずあります。)

2

運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策



運営課題

③ コミュニティスクールとの連携

コミュニティスクール導入にあたり、現在の運営委員は中学校区との掛け持ちとなる可能性があり、負担増となるため、同時に関わり合えるか不透明です。コミスクは、話し合う場であり、単校での活動とは役割が違います。

実質的な負担は限られるかと思いますが、地域としては役割が増えて、会議数がかさむ恐れがあるなど、地域側には重荷に感じられる懸念があります。

【対策① 団体活動の住み分け】地域学校協働活動推進事業であること

コミュニティスクールと、地域学校協働活動で連携はあるが、役割が違うため、過度な意識をせず、コミスクでまとめた意見を取り入れながら、柔軟に子どもたちのために活動します。

コミュニティスクールは「話し合う場」 ⇔ 地域学校協働活動は、「活動する場」

【対策② 当団体が目指すもの】No.1ではなく「オンリーワン」

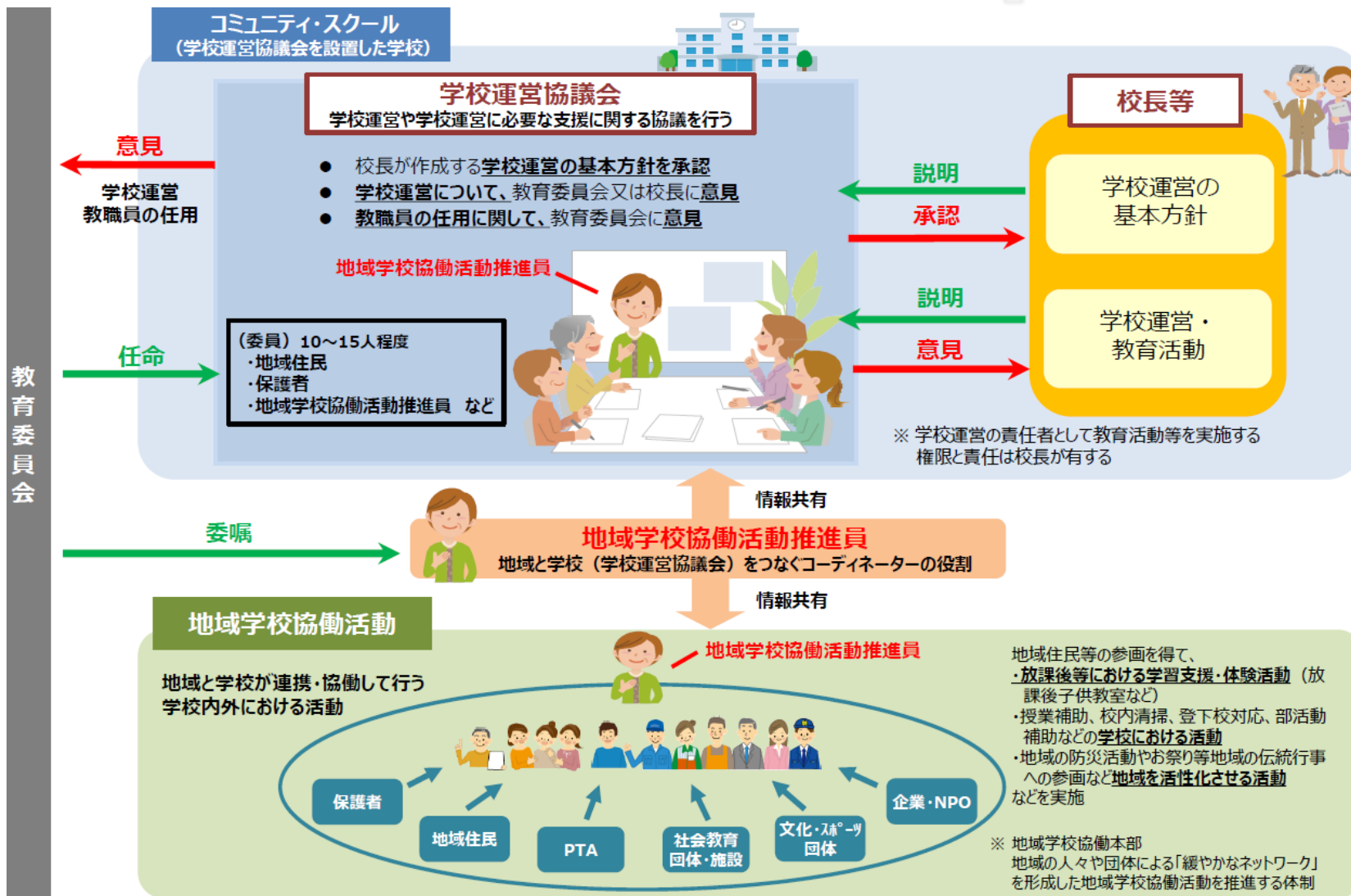
この地域の魅力と地域の潜在能力を活かして、子どもたちが豊かに育つこと、そして地域への愛着を持って、将来、地域の発展に寄与してくれることを目指します。

地域ごとにできることを活かし、他と比較せず、できる範囲で取り組むことが、**大事**です

2

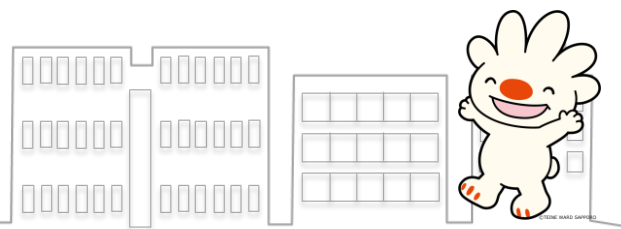
運営の課題

(1) 発足からの経過 (2) 運営の課題 (3) 課題への対策





次第



3

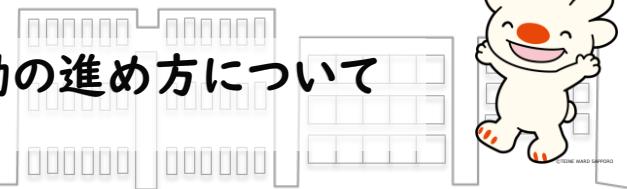
これまでの活動を踏まえた
地域学校協働活動の進め方
について

- (1) 地域を信じて
- (2) まとめ

3

これまでの活動を踏まえた地域学校協働活動の進め方について

(1) 地域を信じて (2) まとめ



(1) 地域を信じて

地学協働やコミスクが目指す先は、

「こどもまんなか社会の創造」です。

子どもの教育は、「先生だけの責務ではない」ということです。

家庭があって、地域があって、社会で育てていくもの。

そのためには、開かれた環境が必要であり、それは学校施設だけでなく、心を開くこと(コミュニケーション)が大事になります。

学校は聖域ではなく、交流する場であり、地域の中心となることが、求められています。結果、こどもたちを「まんなか」にした地域(居場所)が育まれるのです。

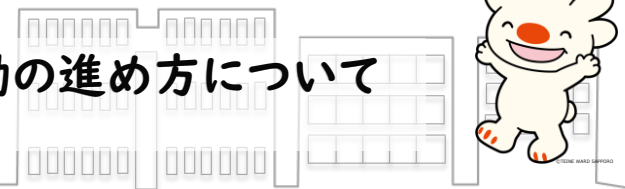
学校＝防災の拠点、交流の拠点、学びの拠点＝居場所



3

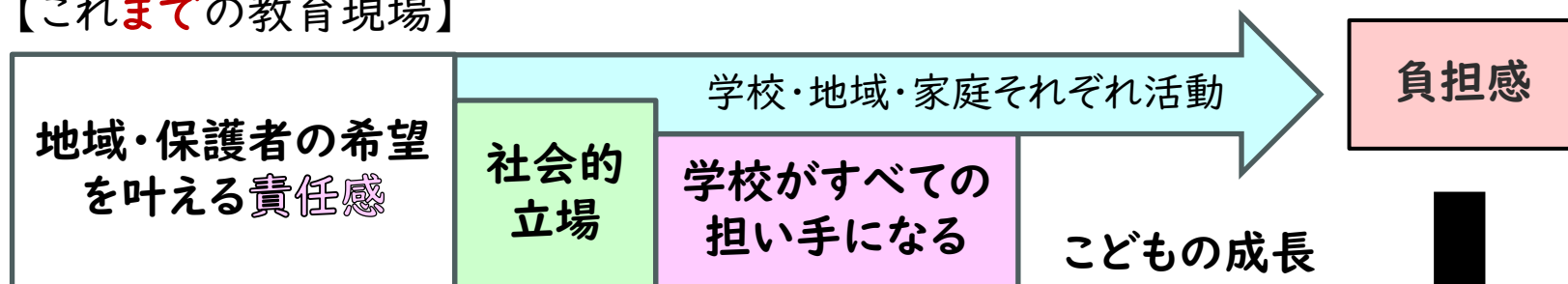
これまでの活動を踏まえた地域学校協働活動の進め方について

(1) 地域を信じて (2) まとめ

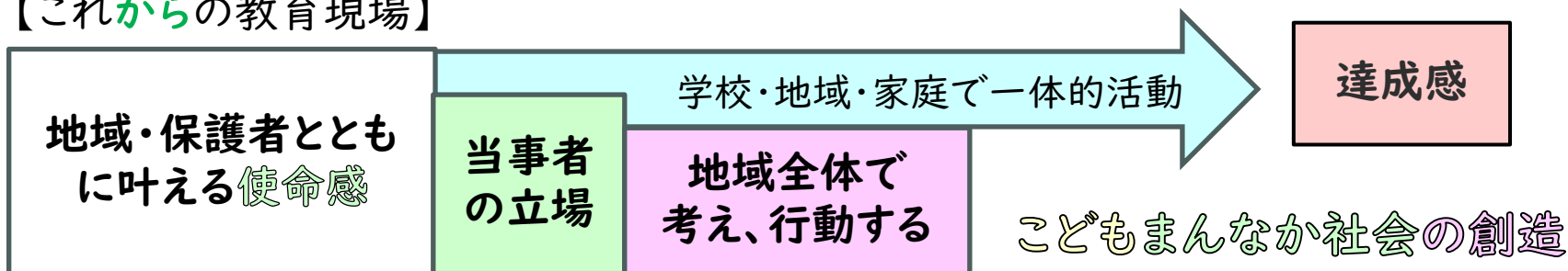


地域学校協働活動を進めるためには…

【これまでの教育現場】



【これからの教育現場】



学校現場に求められることは、効率的かつ効果的な運営です。教員にできる業務は限られていますので、より豊かな教育環境を作るため、**地域の力を信じて**、ともに活動してみませんか。

3

これまでの活動を踏まえた地域学校協働活動の進め方について

(1) 地域を信じて (2) まとめ



(2) まとめ

最後に皆さんに伝えたいことは、地学協働はどんな活動であっても、どんな集まりであってもいいんです。

求められていることは、1人の力で成すことよりも、多くの力で作り上げる「協働活動」であり、それは集まり、話し合い、共有し合える環境づくりが大事となります。

たしかに、最初は大変かもしれません。無理に活動するのではなく、まずは醸成から始めることが「地域学校協働活動」⇔「コミュニティスクール」の第一歩であり、こどもたちの有意義な学びにつながっていきます。

また、地域を育むことで、学びの環境が育ち、そして、こどもたちの成長につながる活動となります。だから、地域を信じてください。

この街を愛する地域の仲間たちは、必ず皆さんのお力になることでしょう。

【文部科学省HP】
「学校と地域でつくる
学びの未来」より



地域みんなの力で 子供たちの未来を拓く

地域と学校の連携・協働は、
教育と子供たちの明日へ心を寄せる
すべての方々に支えられています。

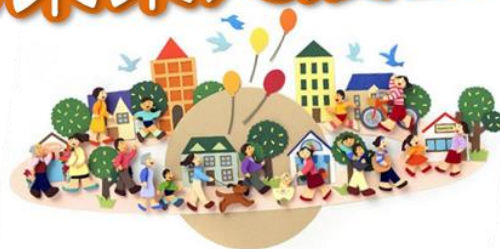


自動再生

ご清聴

ありがとうございました。

手稲中央小☆子ども未来応援団



【手稲中央小☆子ども未来応援団 駒ヶ嶺 智史コーディネーター】

子どもたちの未来のため、地域の橋渡しとなって、



豊かなまちづくりを目指します。